

第2回大野市特別職報酬等審議会 会議録

日 時：令和7年8月29日（金）午後3時30分～4時30分

場 所：結とぴあ301号室

第2回大野市特別職報酬等審議会

日時：令和7年8月29日（金）

午後3時30分～

場所：結とびあ 301号室

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 審議事項
 - ・議会議員の報酬額等について
- 4 閉会

大野市特別職報酬等審議会出席者名簿

	役 職	氏 名
1	大野市区長連合会 会長	安川 昭夫
2	大野商工会議所 会頭	稲山 幹夫
3	連合福井福井地域協議会 大野地区連絡会委員	酒井 広明
4	大野男女共同参画ネットワーク 会長	齊藤 博子
5	北陸税理士会大野支部 支部長	尾崎 正孝
6	福井県社会保険労務士会 理事	伊藤 佑樹

(事務局)

1	行政経営部長	加藤 嘉一
2	総務課長	前田 晃宏
3	総務課課長補佐	森永 奈緒子
4	議会事務局長	横田 晃弘
5	議会事務局次長	多田 直人
6	議会事務局次長補佐	藤本 久実子

1 開会

2 会長あいさつ

本日は各委員の皆様のご協力をいただき会議を進めていきたいのでよろしく願います。

――第1回の会議録について内容を確認――

<修正なし>

3 審議事項

- ・議会議員の報酬額等について（資料1～資料2）

前回の審議会で意見があったことについての追加資料を提出

――議会事務局より資料に沿って説明――

委員：前回、議員活動について見える化した方が良いと提案した。3点お聞きたい。1点目に、議会のYouTube配信をすることになったのは議員側からの提案か。再生回数が様々だが、どこが良かったかどこが悪かったか、もっとこうした方が再生回数が伸びるのではないかという原因を議員側は把握しているか。2点目に、政務活動費を使われている額が議員によってそれぞれ違っているが、それで良いのか。やはり議員活動をしてほしいから活動費を渡しているので、使う額がバラバラなところを市民が見てどのように感じているかと思う。3点目に、議会だよりを見た後、何か意見を言いたいことがあっても市民側からのフィードバックの仕方が分からない。議会だよりを見て、ここが良かったとかここをもっと直してほしいという意見を取り入れてもらえないと、結局編集側の独りよがりになってしまい、良いものに変えていけないのではないかと思う。

議会の思いをしっかりと伝えないと、今回のように報酬を上げるということになった時に、市民の方からいろんな意見が出てくることになると思う。

議会事務局：まずYouTube配信について、元々動画配信はしていた。今回YouTube配信をするに至った主な理由としては、議会の本会議をYouTube配信しているが、本会議が平日の日中に開催されているため、仕事をされている方々には、議場にお越しいただくこと

が難しい。そこで、自宅や出先でも見ていただけるような体制を整えようという提案が、市民の声を受けて議員内から出てきて、実現につながったという経緯である。

次に政務活動費については、満額使い切る方もそうでない方もおられて、バラバラな状態ではある。例えば議長や副議長は、議員以外の議長、副議長としての公務があり、なかなか政務活動費を使って研修などに行きにくいという理由がある。また政務活動費は必ずしも使わなければいけないというものではなく、こちらがお示しする内容で使うことができるというもので、議員の中には政務活動費を使わず活動されておられる方もいる。ただ政務活動費については、せっきくの議員としての活動ができる費用なので、市民にフィードバックできる政務活動の場でしっかり使うものだという意見はお聞きしている。

また議会だよりについては、以前に比べると大分すっきりとさせている。実際、議会だよりの音読ボランティアをしていただいている方々からは、大変見やすくなったし、お届けしやすくなったというご意見はいただいている。ただ議会だよりの中に、市民からのお声を聞くというお示しはしておらず、議会だよりをさらに良いものにしていこうと編集する議員の方々に、研修を重ねながら協議しているので、今いただいた大変貴重なご意見を持ち帰り、検討していきたい。

YouTubeの再生については、議員の中でも、まずは市民の皆様方に知っていただくことが第一ということでやっている。再生数があまり伸びていない時もあったので、LINEでもお知らせをしている。議会としても、再生数を増やし、たくさんの方に見ていただくために、広く周知していく必要があると考えている。

――その他意見なし――

会長：第1回審議会、第2回審議会で委員の皆様から様々な意見をいただいたが、この審議会としての意見をまとめたいと考える。事務局でまとめられるか。

――事務局より答申案を提出――

事務局：これまでに委員の皆様からいただいたご意見を踏まえて、事務局で答申案をまとめさせていただいた。答申案の内容についてご審議いただきたい。

――事務局より答申案について説明――

会長：ただいまの説明について、ご意見をお願いしたい。

委員：今回の審議會は、市議会から適正な議員報酬の審議をして欲しいという諮問があり、8月5日に第1回の審議會があった。その会議の写真が新聞に載ったことで、ベテラン議員の方から翌日の朝に早速電話があり、議員報酬の引き上げについて、自分たちの会派は賛成していないという話だった。文化会館の件もあるし、他にもいろいろな案件があるので、議員の報酬引き上げを望んでいないし、もう1つは常任委員会委員長報酬については全く聞いていないということであった。答申案については特に何も言うつもりはないが、議会議員の総意での諮問ということではないようなので、多数決で決められたことなのか、それをお聞きしたい。

議会事務局：第1回審議會の資料の中でも説明させていただいたが、議員報酬等の見直しの検討結果の中で、会派によっては、現状維持でもいいという意見もあった。最終的には、議員全員が出席する議員全員協議会の中でお諮りをさせていただき、もちろん賛成されない議員の方もおられたが、多くの議員が見直しをお願いしたいという意見であったので、諮問させていただいたという経緯である。

プロジェクトチームの中で検討していただき、その中でも、反対される会派はあったが、その後、議員全員協議会の方で、手上げまではしないが結果的には多数決という形になっている。

委員：答申内容について、議員のなり手不足という言葉が出ているが、エネルギーとか原材料価格の高騰などに加えて、最近では人件費もかなり上がってきている。これは一例になるが、民間ではだいたい30代、40代の男性が、30万円から35万円ぐらいの賃金だと退職するケースが増えている。なぜ退職するのかという理由はなかなか分からないが、おそらく転職だと考える。一家の大黒柱である男性が、35万円に満たない賃金だと少し厳しいのではないか。そういう実情というか賃金水準というか、相場感というところもちちらに記載された方が良いのではと思う。

会長：報酬の改定額についてはいかがか。

全委員：了承する。

事務局：最後に委員の方からいただいた意見の、人件費が上がっていることの相場感のような文言を入れた方が良いというご提案について、1の「審議の論点」の箇所に、事務局の方で加えさせていただきたい。細かい文言の修正等については、会長一任を取っていただけるとありがたい。

会長：では最終的な確認をしたい。内容を大幅に変えることはないが、言葉の表現など少し修正があるかもしれないので、これについては私と事務局の方に一任をしていただいて、答申書を提出させていただくこととしてよろしいか。

全委員：了承する。

事務局：それでは、最終的に答申書を完成させ、会長から市長へ答申書を渡していただくという形で今後進めさせていただきたい。

会長：これをもって第2回目の審議会を終了したい。私たちは委員として、審議会に関わったことを誇りに持ちたいと思う。議員の方々に対しての私たちが期待する思いを答えとして出すわけなので、いろいろな評価があるかとは思いますが、審議会でこういう結論になったということを、市民の方々にも機会があれば説明していただきたいと思います。本当にご協力に感謝申し上げます。

4 閉会